NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行

八幡小

学校名　仙台市立八幡小学校　　校　長　早坂　保文
所在地　仙台市青葉区八幡2の9の1　　児　童　673人
電　話　022（234）4381

ふるさと八幡を見直そう！

歴史と人々つなぐ町

私たち八幡小の周辺には、歴史の深いお寺や伝統あるお店などがたくさんあります。総合的な学習の時間で地域に住む方々や八幡小の先輩方から興味深いお話をしていただいたり、実際に現地に出かけたりして楽しく学習し、八幡町のよさをあらためて実感しました。この記事を読んだらきっとあなたも八幡町に来てみたくなりますよ！

知り隊

神社、祭り、大病院も

八幡町は伊達家ゆかりの地です。八幡小ほど近い所にある「大崎八幡宮」は政宗が建てた由緒ある神社で、正面入り口にある大きな鳥居は地域の人々に親しまれてきました。

1月にはどんと祭が行われ、たくさんの人たちが参拝にやってきます。真冬には、四つの谷を越えている格好で参拝する裸祭りが行われます。なんと、八幡小の先生方も参加しているんですよ。ブルブルッ。

政宗は「四ツ谷用水」もつくりました。その昔、人々は生活用水をわざわざ広瀬川までくみに行かなければなりませんでした。そこで水を引いたのが四ツ谷用水の成り立ちです。人々にとって水が身近な存在になり、子どもたちは用水路で水遊びをしました。

現在は用水路にふたをされてしまいましたが、今もなお、地下を水が流れています。当時の政宗の意遺いが感じとれるそうです。

一説に四ツ谷用水の由来は、四つの谷を越えているからといわれていますが、実際はもっと多くの谷を越えているそうです。

さて、八幡町の魅力をもう一つご紹介します。学校のそばを通る国道48号は宮城県と山形県をつなぐ道路であるだけでなく、道路沿いにたくさんのお店や施設が立ち並んでいます。以前は、市電が通っていました。

国道48号沿いにある大きな病院といえば、東北大学病院と仙台厚生病院です。働いているお医者さん、看護師さん、職員の皆さんは、尊い命をつなぐために日夜がんばっています。大学病院では最先端の治療が行われています。仙台厚生病院は心臓カテーテル治療が東北一といわれるほどです。院内にはカフェや八百屋などのお店もあり、地域の人たちに親しまれています。

国道周辺は、場所と場所をつなぐだけでなく、人と人をもつないでくれる、なくてはならない存在なのです。

八幡町にあるのはそれだけではありません。なんと、おっと、そろそろ終わりのようです。続きは八幡町で！　お待ちしています。

文・小川晴生、千場歩美、進藤瑞季、金子咲月、高橋奈津実、遠藤光一（6年）

言い隊

■コメを大切に食べて■

八幡小では総合的学習の時間の一つとして、5年生が宮城県加美町で田植えや稲刈りをします。真っ赤な太陽に照らされ、体中、汗だくになってやりました。とても大変でした。

つらい仕事を、農家の人はどうして続けられるのだろうと思い、農家のおじさんに聞いてみました。すると「大変な作業もあるけど、喜んで食べてくれる人の顔を思い浮かべればつらいことより喜びの方が大きいよ」と答えてくれました。食べる人のことを考え、苦労を乗り越えコメを作っていることに感動しました。

みなさん、感謝の気持ちを忘れずコメ一粒も無駄にしないで食べましょう。

（6年・坂本好輝）

■エコせっけん手作り■

保健委員会では「手洗いをしっかりしよう」と呼び掛けています。昨年新型インフルエンザが流行したとき、話し合って考え出したのが「手作りのせっけん」です。きっとみんな、楽しみながら手洗いをしてくれると思いました。

そこで給食室で残る廃油を使った、環境にも人にもやさしいエコせっけん作りに挑戦しました。材料は廃油とカセイソーダと水。それを牛乳パックを利用した容器を使って仕上げていきました。ラベンダーなどの香りもつけ、出来上がり。金学年にラッピングして届けると、みんな驚き喜んで使ってくれました。

これからも身近なエコに取り組みたいと思います。

（6年・鳥谷菜摘）

うきうきキャンバス

スイミーが出会ったおもしろいもの
3年・遠藤晴仁

しゃぼんだまにのって
2年・アブドゥラーマン・アマル

がんばったリレー
4年・佐藤楽

鳥の木の仲間たち
6年・西沢一記

メタセコイアをみつめて
5年・長嶋健太

教え隊

5年生の学芸会

英語で「白雪姫」熱演

2月に行われた5年生だけの学芸会

5年生になって外国語が始まり、学芸会は英語で「Snow White（白雪姫）」に取り組みました。

オーディションから始まり、英語ボランティアの方々に来ていただきながら練習しました。ところが学芸会が楽しみになってきたころ、新型インフルエンザの学級閉鎖と学年閉鎖で、昨年は中止されました。

しかし今年2月、5年生（現6年生）だけの学芸会を行い、授業参観で保護者の方々に見てもらいました。とてもうれしく、私たちも楽しむことができて達成感がありました。

文・遠藤瑞季、菅原湧也（6年）

編集後記

今回載せた記事は、ぼくたちが総合的な学習の時間などで学んだものです。足を運び、取材をしていく中で、いろいろな人々と出会い、つながることができました。

八幡には歴史と伝統があって、それを頑張って守っている人々がいることがわかり、すばらしい町だとあらためて思いました。その学習をこのような記事で皆さん（6年）に伝えることができて本当によかったと思っています。

また、このような機会があればやってみたいと思います。

〈編集委員〉小川晴生、千場歩美、進藤瑞季、鳥谷菜摘、金子咲月、菅原湧也、遠藤光一、坂本好輝、高橋奈津実（6年）

〈指導教諭〉大場俊宏、今野美鶴、武田理恵子

次回（6月8日）は、北六番丁小（仙台市）と住吉小（石巻市）です。